

JIS

木材保存剤

JIS K 1570 : 2010

(JWPA/JSA)

平成 22 年 9 月 21 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 化学製品技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	土 肥 義 治	独立行政法人理化学研究所
(委員)	井 上 進	社団法人日本化学工業協会
	植 田 新 二	財団法人化学物質評価研究機構
	海 野 敦	独立行政法人住宅金融支援機構
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	奥 山 通 夫	社団法人日本ゴム協会
	笠 野 英 秋	拓殖大学
	加 茂 徹	独立行政法人産業技術総合研究所
	香 山 茂	財団法人化学技術戦略推進機構
	高 橋 俊 哉	社団法人日本塗料工業会
	田 和 健 次	石油連盟
	橋 本 隆	社団法人自動車技術会 (日野自動車株式会社)
	堀 友 繁	財団法人バイオインダストリー協会
	松 永 孝 治	日本プラスチック工業連盟
	森 川 淳 子	東京工業大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 7.7.1 改正：平成 22.9.21

官 報 公 示：平成 22.9.21

原 案 作 成 者：社団法人日本木材保存協会

(〒105-0001 東京都港区虎ノ門 4-2-5 第 3 松坂ビル TEL 03-3436-4486)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：化学製品技術専門委員会 (委員長 土肥 義治)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 原理（加圧注入処理）	2
4 用語及び定義	3
5 種類	4
6 品質	4
7 性能	8
8 品質の試験方法	9
8.1 一般事項	9
8.2 試料の採取方法	9
8.3 試験液の調製	9
8.4 個別成分分析方法	10
8.5 有効成分の配合比及び合計含有量	39
8.6 製品の状態	43
8.7 水不溶解分	43
8.8 pH	45
8.9 脂肪酸の酸価	45
9 表示	46
解 説	47

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、社団法人日本木材保存協会（JWPA）及び財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。これによって、**JIS K 1570:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格に従うことは、次の者の有する特許権等の使用に該当するおそれがあるので、留意する。

－ 氏名：ランクセスドイツ社 LANXESS Deutschland GmbH

－ 住所：LIP Intellectual Property Rights

Building Q18, Room 1457

51369 Leverkusen, Germany

－ 氏名：株式会社ザイエンス

－ 住所：東京都千代田区丸の内 2 丁目 3 番 2 号

上記の、特許権等の権利者は、非差別的かつ合理的な条件でいかなる者に対しても当該特許権等の実施の許諾等をする意思のあることを表明している。ただし、この規格に関連する他の特許権等の権利者に対しては、同様の条件でその実地が許諾されることを条件としている。

この規格に従うことが、必ずしも、特許権の無償公開を意味するものではないことに注意する必要がある。

この規格の一部が、上記に示す以外の特許権等に抵触する可能性がある。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権等にかかわる確認について、責任はもたない。

なお、ここで“特許権等”とは、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願をいう。

木材保存剤

Wood Preservatives

序文

この規格は、1995年に制定され、その後3回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は2004年に、銅・アゾール化合物系及びクレオソート油の見直しを行い、アゾール・第四級アンモニウム・ネオニコチノイド化合物系を追加し、最近の生産及び使用の実態を踏まえるために行った。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

1 適用範囲

この規格は、木質材料に防腐性能及び防ぎ（蟻）性能をもたせるための木材保存剤であって、加圧注入処理によって用いるものについて規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS A 9002 木質材料の加圧式保存処理方法
- JIS B 7525 密度浮ひょう
- JIS H 2121 電気銅地金
- JIS K 0050 化学分析方法通則
- JIS K 0061 化学製品の密度及び比重測定方法
- JIS K 0102 工場排水試験方法
- JIS K 0114 ガスクロマトグラフ分析通則
- JIS K 0115 吸光光度分析通則
- JIS K 0116 発光分光分析通則
- JIS K 0121 原子吸光分析通則
- JIS K 0124 高速液体クロマトグラフィー通則
- JIS K 1503 アセトン
- JIS K 1571 木材保存剤－性能基準及びその試験方法
- JIS K 2249 原油及び石油製品－密度試験方法及び密度・質量・容量換算表
- JIS K 2435-2 ベンゼン・トルエン・キシレン－第2部：トルエン
- JIS K 2435-3 ベンゼン・トルエン・キシレン－第3部：キシレン
- JIS K 3362 家庭用合成洗剤試験方法
- JIS K 8012 亜鉛（試薬）